

利根町教育委員会定例会会議録

令和3年7月26日 午後3時30分開会

1. 出席委員

教 育 長	海老澤 勤 君
教育長職務代理者	佐藤 忠信 君
委 員	石井 豊 君
委 員	長岡 純子 君
委 員	巻 島 久 君

1. 欠席委員

な し

1. 出席事務局職員

学校教育課長	中村 寛之 君
指導課長	池田 恭 君
生涯学習課長	桜井 保夫 君
学校教育課長補佐	布袋 哲朗 君
学校教育課係長	辰尾 尚美 君

1. 議事日程

議 事 日 程

令和3年7月26日（月曜日）

午後3時30分開会

- 日程第1 議案第16号 利根町教育委員会事務点検評価員の委嘱について
議案第17号 令和4年度使用小学校教科用図書採択について（継続採択）
議案第18号 令和4年度使用中学校教科用図書採択について（継続採択）
議案第19号 令和4年度使用小学校特別支援学級（知的障害）教科用図書採択について
議案第20号 令和4年度使用中学校特別支援学級（知的障害）教科用図書採択について
- 日程第2 その他

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第 1 議案第 16 号 利根町教育委員会事務点検評価員の委嘱について
議案第 17 号 令和 4 年度使用小学校教科用図書の採択について（継続採択）
議案第 18 号 令和 4 年度使用中学校教科用図書の採択について（継続採択）
議案第 19 号 令和 4 年度使用小学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について
議案第 20 号 令和 4 年度使用中学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について

日程第 2 その他

午後 3 時 30 分開会

○教育長（海老澤 勤君） こんにちは。お忙しい中お集まりくださいます、ありがとうございます。

ただいまより、令和 3 年 7 月の教育委員会定例会を開催いたします。

今日、ご審議いただく議案は、計 5 件でございます。

議題に入ります前に、議案第 16 号 利根町教育委員会事務点検評価員の委嘱につきましては、人事に関する案件のため、また、議案第 17 号から議案第 20 号までの教科用図書の採択につきましては、教科用図書採択の公正確保及び適切な審議環境を整える観点から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項のただし書きに基づき、非公開にしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ただいまご承認いただきましたので、議案第 16 号から議案第 20 号までを非公開といたします。

○教育長（海老澤 勤君） 日程第 1 議案第 16 号 利根町教育委員会事務点検評価員の委嘱についてを議題といたします。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） それでは、議案第 16 号 利根町教育委員会事務点検評価員の委嘱につきましては、原案のとおり承認いたします。

○教育長（海老澤 勤君） 続きまして、審議に入ります前に、議案第 17 号 令和 4 年度使用小学校教科用図書の採択について（継続採択）から議案第 20 号 令和 4 年度使用中学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択につきましては、教科書関係の議案ですので一括審議としたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） 異議なしとのことですので、議案第 17 号から議案第 20 号までを一括審議とさせていただきます。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） ないようですので、議案第 17 号 令和 4 年度使用小学校教科用図書の採択についてから議案第 20 号 令和 4 年度使用中学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択については、原案のとおり承認いたします。

○教育長（海老澤 勤君） 日程第 2 その他。

その他、何かございますでしょうか。

○学校教育課長補佐（布袋哲朗君） お手元にお配りしました通学路における交通安全対策要望書の提出についてということで、前回の教育委員会の際に佐藤委員からもお話がありました千葉県八街市の事故の件を受け、本町で行いました通学路の点検等の流れをご説明したいと思います。

まず初めに、6月3日付で各小中学校長宛てに通知を出しております。利根町通学路交通安全プログラムに基づきまして、毎年、竜ヶ崎工事事務所、取手警察等を含めまして、合同点検を実施しております。この合同点検を実施する前に、各小中学校から交通安全対策の要望箇所を提出していただきまして、それに基づいて合同点検を実施しております。今回、8月31日（火）までということでの通知を出したところです。

その後、6月28日に千葉県の八街市で、下校中の児童5名が巻き込まれる事故がございまして、次のページ、一覧表になってはいますが、本町の建設課と学校教育課で通学路の緊急点検を実施いたしました。

主な点検箇所につきましては、ある程度交通量がある道路で、歩道がない箇所や合同点検でまだ改善されていない箇所を点検させていただいております。

まず1番目の箇所は、早尾台から下りてきまして、とん幸のところの通りになります。もえぎ野台から文小学校へ向かう通学路で、逆に、自転車で早尾台の坂道を下って利根中学校へ向かう通学路と交差する箇所、停止線がなかったり、道幅が狭くなったり、見通しが悪くなったりということで、この箇所は合同点検を実施していますが、改めて点検を実施し何らかの対策を講じたいというふうに思っております。

続きまして、2番目、左下になりますが、布川小学校の通学路で、カスミから布川神社方面の写真になります。こちらにつきましては、県道取手東線で、昨年度、合同点検をしまして、外側線がまったく見えない状況でしたので、白線を引いていただきました。昨年度の合同点検をした際にはグリーンベルトということで要望をさせていただきましたが、予算的になかなか難しいということで、外側線の引き直しをしていただきました。この先も

道路が狭くなってきますので、様子を見ながら何らかの対策を講じていただくよう検討したいと考えております。

3番目は、同じく布川小学校の通学路で、布川小学校から四季の丘へ抜ける田んぼ道で、ここはかなり狭くて、片方が水路、片方が田んぼということで、車1台通ると、逃げ場がなくなる道路になります。注意看板はありますが、令和5年度から区画整理が入ることなので、それに合わせて、また対策を講じてもらいたいということで、要望させていただきたいと考えています。

4番目、こちらと同じく布川小学校の通学路で、取手東線、利根ニュータウンから布川小学校に向かうところの丁字路になる箇所です。今のところ、ここが一番多くの児童が横断歩道を渡るところで、縁石はあるもののガードレールがない箇所です。昨年度、工事事務所には要望を提出しておりますが、まだガードレールの設置には至っておらず、待機中に車が突っ込む可能性もありますので、改めてガードレールの設置を要望していきたいと考えております。

続きまして、上のほうに行きまして、5番、6番になります。こちらは文間小学校の通学路で、文間小学校からもえぎ野台に向かう通学路になります。こちらのほうも道路が狭くて、左側が水路で柵がありまして、草が生い茂ったりもするので除草や路面標示など検討していただければと思っております。道幅が狭いので道路の拡幅の要望をしておりますが、拡幅はなかなか難しく、今年度、道路の敷設替えをしますので、少しは改善されるのかなと思っております。

最後、7番目になります。こちらは文間小学校の通学路で文間保育園を通りまして、立木の十字路に抜けていく道路になります。こちらのほうは、今年度、令和3年度に、この信号のところまでは拡幅されるということなので、かなり改善されるのかなと思っております。

こちらの通学路緊急点検実施結果については、明日、校長会がありますので、これらの資料をお渡ししまして、通学路の交通安全対策箇所の要望を上げていただくようお願いをしようと思っております。

最後のページに、7月13日付で茨城県教育委員会教育長からの通知がございまして、内容的には、通学路の合同点検に基づいた点検をしていただきたいという依頼がございました。

今回点検項目に追加する観点(1)から(3)ということで、見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路、過去に事故に至らなくてもヒヤリ・ハット事例があった箇所、保護者・見守り活動者・地域住民等から市町村への改善要望があった箇所が追加されておりまして、この辺の点検も含み9月末までに実施をし、10月末までに、その改善対策案を作成して報告することになっております。

説明は、以上となります。

○教育長（海老澤 勤君） ありがとうございます。

何かございますか。

○委員（巻島 久君） 文間小学校の 7 番の通学路が拡幅されるということで、文間小学校のほうから幅が広がって、左側の土地を買収し産業道路まで広くなると思いますが、今までは、産業道路の手前の十字路は狭かったので、お互い徐行して、衝突しないようにみんな気をつけていたと思うのですが、道路が広くなると、今度は、一気にスピードが出ると思います。中学生の通学路にもなっていると思うので、道路の路面に何か色をつけるとか、凸凹をつけるとかしないと、危ないと思うので、細い道路の対応もお願いしたいと思います。この機会に色を変えるなり、かなり目立つようにして、細い道のほうは一旦停止するように、いろいろな手立てをお願いします。

○学校教育課長（中村寛之君） あそこ十字路は一時停止になっていると思いますが、何かもっと分かるように道路管理者と話をして対策を考えたいと思います。

○委員（巻島 久君） よろしくをお願いします。

○教育長（海老澤 勤君） よろしいですか。

そのほか、いかがですか。

○委員（長岡純子君） 「第 12 回布川一茶俳句大会」のチラシを配布させていただきました。小学校 3 年生から 6 年生までで、今回、山梨県笛吹市の俳句大会に応募するというところで、私たち布川一茶俳句会は、6 月、7 月に各小学校の俳句指導のお手伝いに行きました。

3 年生から俳句を作ってすごいなと思うのですがけれども、先生方ももう何年もやっているので慣れているし、指導も上手で一生懸命で、俳句の会の人たちもこういう活動をお見せしてうれしいという感じで、とてもよい教育、交流だったと思います。

俳句は、日本古来の文化で、言語教育、言葉の指導で情操教育にもなりますし、俳句をやり始めると、自然のことに興味を持ったりして、とても良いだと思えるのですね。大人にはない、子供たち独特の光る言葉を使って、本当にすごいなと思うこともありました。

1 句、文小学校の児童の句を紹介します。「太陽に 先に食べられ アイス溶け」、「風鈴が 一度も鳴らずに しまわれた」。私たち大人が思わない、感じないような俳句を作っていたので、利根町って、本当にいい教育を実践しているなと改めて思いました。

締め切りが 9 月 30 日（木）必着なのでありますが、ぜひ皆様方、これ書いて応募していただきたいなと思います。よろしくをお願いします。

○教育長（海老澤 勤君） そのほか、いかがですか。

○委員（佐藤忠信君） 最近の報道で、小中学校の体育の授業でマスクをしていて、熱中症になり病院に運ばれたとか、あと、社会科の校外学習で、農業ハウスでマスクをしていて、9 人ぐらいが搬送されたという報道がありました。

その中で、大学教授や、お子さんを亡くした親ごさんが言っていたのは、指針が曖昧で、外での授業はマスクを取るとか決めないと、子供には判断できず、不安がったりもしますので、なかなかマスクを外しづらい。そういう状況だと事故につながる確率が高いような話をされていました。

本町では、今のところ、多分まだ事故はないですが、これからさらに暑くなりますので、特に中学校の部活では、その辺を示していただきたいと思います。

以上です。

○指導課長（池田 恭君） ご指摘ありがとうございます。本当に 1 学期の終わりの直前くらいから、熱中症は本当に怖いなという思いを持っていて、各学校とも連絡を取っています。小学校、中学校とも、体育の時間はもちろん、登下校に関してもマスクは着用しなくても良いという指導をしているところではあります。

現在、中学校は部活の最中ですので、明日の校長会でも確認しますが、やはり活動するときにはマスクを外し、ミーティングなどのときにはマスクを着用するようになっているのですが、距離を取ったときにはマスク着用なしでも良いということ、積極的に外すことも大事だということを伝えていきたいと思います。

また、夏休み終了後の熱中症対策についても、明日の校長会で確認をさせていただいて、2 学期のスタートを切れるようにしていきたいと思います。ご指摘ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） そのほか、いかがですか。

○委員（巻島 久君） 町の行事として実施している田植え稲刈り体験は、今の感染状況から考えると難しいのかなとは思いますが、やるかやらないかはいつ頃決定されるのでしょうか。

○学校教育課長（中村寛之君） 7 月初めのときには、茨城県の感染状況が大分低かったので、実施する方向で考えていたのですけれども、今、現状、ステージ 3 になるかどうかという状況ですので、明日の校長会で、最終的な方向性を出したいと思っております。よろしく願いいたします。

○委員（巻島 久君） ありがとうございます。

ひよんなことから、田植えの体験ができなかったので、文小学校の子供たちに、総合的な学習の授業をしてもらえないかという依頼がありまして、子供たちに米づくりの 1 年間といった授業をしたのです。そうしたら、子供たちの意欲はすごくて、こちらが思っているよりもずっと興味を示してくれまして、授業が終わってからも、先生、先生って、たくさん聞きに来るような感じで、久しぶりに先生と呼ばれて私も嬉しくなりました。子供たちも、稲刈りがやれたら良いねと思っているので、早めにお聞きしました。

それで、子供たちに、「稲は花が咲くでしょうか」というクイズを出して、小麦の花と、稲の花と、全然違う花の写真を見せたら、すごく盛り上がりました。

一番盛り上がったのは、分けつといって、「田植えで 3, 4 本の苗を植えると稲刈りの時期には 1 株何本くらいになるでしょうか」というクイズで、増えないと思っている子が大半でした。3, 4 本は、3, 4 本のまま大きくなると思っていたら、分けつして、実際は 10 倍くらいの 30 本くらいになるという話をしたら、子供たちはびっくりしていました。

授業が終わってからも、「先生、1 株で米粒は何個くらい採れるのですか」という質問も出たので、もし稲刈り体験ができないなら、1 株切って、みんなで放課後数えてみましょう

とか、興味がある子が参加できるような機会が設けるなどのアプローチの仕方があるかな
と思ったので質問させていただきました。

○学校教育課長（中村寛之君） ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） ありがとうございます。

そのほか、いかがですか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ないようですので、令和3年7月の教育委員会を閉会といた
します。ありがとうございました。

午後4時30分閉会